

ユニリタマガジン

# UNIRITA Magazine

vol.  
68



## 特集

企業に求められる変革とは  
～ 2023年度のITトレンド～

最新IT活用事例のご紹介

第39回UNIRITAユーザシンポジウム  
プログラムのご紹介

ユニリタマガジン、  
Ha.Co.Bu.Ne.で配信中

# 企業に求められる変革とは ～ 2023年度のITトレンド ～

毎年、年末から年始にかけて、大手IT調査会社がこぞって、これからの1年の間に大きな発展が見込まれそうな最新のITトレンド予測を発表しています。ユニリタでは、各社が発表したITトレンドとユニリタが日ごろからITコンシェルジュ活動を通じてヒアリングしているお客様の生の声から導き出した、独自の予測をお伝えしています。今号では、2023年度に企業に求められる変革と、関連するITトレンドをご紹介します。

2022年度のITトレンドが気になる方は、ユニリタマガジン Vol.62 をご覧ください。

<https://ebook.unirita.co.jp/unirita/MG62/>

昨今の新型コロナウイルスの影響で、私たちの生活環境は大きく変化しました。不確実な経済・社会環境のもと、企業を取り巻く社会通念や価値観はこれまで以上に速く変化しています。このような環境の中、企業はその変化に素早く追従するために、デジタル技術やデータを活用し、「さらなる企業活動へのDX推進」の実現が必要不可欠となっています。昨年(2022年)お伝えしたITトレンドでは「企業ごとに最適化されたDXの活用が進む」とお伝えしました。2023年度は、DXをさらに進化させ、これまで以上に「デジタルを活用したビジネスの開発やシステム基盤を構築」していくフェーズになると予測しています。

もう1つのトレンドはSDGsのような国際目標に代表されるように、「サステナブル(持続可能性)を実現するIT環境の整備」です。ユニリタのお客様へのヒアリングでも社会貢献や環境問題には強い関心を示されています。環境や社会へ配慮しつつ、デジタルネイティブな組織や環境を実現するためにも、変化に強いシステム環境を構築する必要があります。アジャイル開発や、機能のマイクロサービス化、業種や業態に特化したクラウドサービスなどを組み合わせ、環境変化に追随し、早期にビジネスを立ち上げ、改修し、必要がなくなれば影響なくクローズできる、このようなエコなシステム開発を行うことが求められています。

これらの観点からユニリタでは2023年度に「企業に求められる変革」について取り組むべきこととして、以下の6つをキーワードにあげています。

それぞれの内容について、より詳細に説明していきます。





## 01 デジタル経営基盤の構築

経済産業省が発表した新たな経営基盤構築の必要性を訴えるDXレポートや、富士通のホスト撤退のニュースなどを受け、レガシーシステムの刷新を検討する企業が増えています。また今後は、SDGsなどの非財務情報のシステム強化も求められます。さらに、計画系業務では手作業やExcelから脱却し、データのデジタル化およびデータドリブンな意思決定を可能にする経営基盤が必要となります。

このような課題を解決するためには、データから価値ある情報を迅速に引き出すデータ分析の実現が求められます。企業内に分散するさまざまなデータを素早く収集し、分析ツールに取り込むための加工を行うインフラの構築も必要になります。

### ユニタグループの提供するソリューション

#### ユニタクラウドサービス

ユニタではレガシーシステムの刷新を進める上でシステムの特性に応じてモダナイゼーションまたはクラウドERP化への移行ソリューションを提供しています。



ユニタクラウドサービス

#### Waha! Analysis Platform

データの収集・加工・分析を行うBI・DWH製品を、ワンストップでPaaS提供する超高速データ活用プラットフォームです。収集したデータを分析することにより、データから価値ある情報を引き出し、データドリブンな意思決定を支援します。

#### Waha! Transformer

ビジネスに必要なデータを、『いつでも、どこでも、だれにでも』ノーコード開発でデータ加工・連携し「ユニバーサル」を実現するETLツールです。



#### まるっとデータ変換・加工クラウドサービス

データ変換・加工処理から運用保守業務までをクラウドインフラでアウトソーシングできるサービスです。データの連携加工要件を提供いただければ、利用者はデータ変換・連携のロジックを構築することなく、ユニタが一気通貫で実施します。



データ変換・加工  
CLOUD SERVICE

## 02 ハイブリッドワークの拡大

働き方改革が進む中、従来までのオフィスワークと自宅など社外でのリモートワークを柔軟に組み合わせる「ハイブリッドワーク」が一般化してきています。企業は、分散した労働環境下で働く従業員の業務遂行を支えるインフラと円滑なコミュニケーション基盤を構築する必要があります。

さらにその先には、メタバースなどの仮想技術を活用したバーチャルなオフィスでのビジネス活動の実現に向けた取り組みが、広がりを見せると予想します。

仮想空間においてミーティング、教育・訓練、セールス&マーケティングなどの企業の業務プロセスを行う環境が整備されることで、これまで以上に場所や時間を選ばない就労環境の提供が期待されています。

### ユニタグループの提供するソリューション

#### まるっとコミュニティアクラウドサービス

まるっとコミュニティアクラウドサービスは、社内のプロジェクトやチーム間、部門間でのやり取りだけでなく、企業と顧客間といった社内と社外のどちらのコミュニケーションにも対応した双方向コミュニケーションポータルです。



コミュニティア  
CLOUD SERVICE

#### Digital Workforce

Digital Workforceは、働き方改革のプラットフォームとして従業員やIT部門の方々の生産性・セキュリティを向上させる機能を取りそろえたIDaaSです。「ポータル」「シングルサインオン(SSO)」「ID管理」「API管理」「セキュアブラウザ」の5つの機能を組み合わせ、安全で快適なリモートワーク体制を提供します。



## 03 デジタルビジネス開発の加速

昨年度のユニリタマガジン vol.62でも取り上げましたが、2023年の現在でも、多くの企業がDXを推進しているが、その取り組みは間接業務のシステム化や効率化など、業務改善レベルの施策にとどまり、業務プロセスの改革やデジタルを活用した新しい事業(デジタルビジネス)の開発まで実施できている企業はまだ多くはないのが実情ではないでしょうか？

今後は、まわりの環境整備や最新事例などから方法論が確立されることにより、企業には利益を生み出せるデジタルビジネス開発を加速することが、より求められます。

ユニリタグループでも、昨今、DXの推進や業務プロセスの改革などについての相談をうけるケースが増えており、実際に成果を出した事例も生まれています。

### ユニリタグループの提供するソリューション

#### デジタルサービスマネジメントシステム(クラウド運用設計コンサルティング)

デジタルサービスカンパニーへと変革するために必要な「エンドツーエンドでの顧客体験管理」「競争力を支えるサービスマネジメントの運営」「データに基づくカスタマーサクセス」をすべて実現できるプラクティスです。

#### プロセスマネジメント・業務改革コンサルティング

DX構想策定やBPM推進、業務要件定義の支援など、業務変革・DX推進部門向けのコンサルティングメニューです。

## 04 クラウドネイティブなサービスの利用

DXの推進が求められる背景には、昨今のビジネスにおける激しい変化への対応があげられます。環境やお客様のニーズの変化を素早くとらえて、アプリケーションを迅速かつ柔軟に開発し、リリースすることが求められています。その要求への答えの1つが「クラウドネイティブなサービスの利用」です。クラウドネイティブとは、クラウド上で動くことを前提にクラウドならではの特性や特長を活かせるよう設計されたシステムのことです。

マイクロサービスやコンテナなどのテクノロジーを用い、合わせて「アジャイル」や「DevOps」などの開発手法を組み合わせることで変化に強い柔軟なシステム・アプリケーションを構築することができます。

これからの企業は、「クラウドネイティブなサービスの利用」に取り組み、変化に強い柔軟なシステム・アプリケーションを構築することが、DXの推進に非常に重要だと考えています。

### ユニリタグループの提供するソリューション

#### ユニリタクラウドサービス

お客様の要望やアプリケーションの特性に合わせたIaaS、PaaS、SaaSの環境を提供します。



ユニリタクラウドサービス

#### まるっとシリーズ

システムの構築はもちろん、煩わしい運用から保守まで“まるっと”お任せ！多数の実績があるユニリタ製品をクラウド上で稼働させて、ニーズの高い機能を汎用的なサービスとして提供すると共に、質の高い運用サービスを付加してサービスを提供します。



## 05

## システムの自動運用・アウトソーシング

ビジネスの急速な進化は、同時にIT環境の複雑化を生んでいます。特にマルチクラウド化が進められた企業のシステム基盤は、環境ごとの運用・管理が異なり、IT部門に大きな負担となっています。

このような課題の解決には、システムの運用業務を自動化することが有効です。

AI機能の搭載といったシステム運用ツールの進化により、システムトラブルの自動検知、構成管理の自動化や容量・性能管理といった運用業務を学習し、それぞれの環境に合わせた自動化が実現されます。これによりIT部門は、運用業務の負荷低減と品質向上が期待できます。

また、運用業務を専門の事業者に出注することで、より専門性の高い洗練された運用環境を実現できます。アウトソーシングの1番のメリットは、自社の人材を運用業務に回す必要がなくなり、コア業務に集中できるため、よりDXの推進につながります。

### ユニリタグループの提供するソリューション

#### A-AUTO

運用管理業務の自動化、安定化はもちろん、ジョブを柔軟かつ容易に実行するための多彩な機能を持ったジョブ管理ツールです。



#### bindit

ITの専門的な知識を持っていないビジネス人材でも、アプリケーション連携を簡単な設定だけで自動化することができ、デジタライゼーションの推進によるデスクトップ作業の効率化を支援できるクラウドアプリケーション連携サービス (iPaaSツール) です。



#### まるっとシリーズ

システムの構築はもちろん、煩わしい運用から保守まで“まるっと”お任せ! 多数の実績があるユニリタ製品をクラウド上で稼働させて、ニーズの高い機能を汎用的なサービスとして提供すると共に、質の高い運用サービスを付加してサービスを提供します。



#### ユニリタクラウドサービス

データセンターや、クラウド環境に対するフルマネージドサービスの提供など、お客様の要望に合わせたクラウド環境の活用を支援します。



#### SRクラウドパッケージ

お客様のシステムを安心・安全に稼働させるためのクラウド環境の構築・提供から保守・運用までをパッケージとして提供します。



#### 完全リモートサービスデスク

企業のサービスデスク業務のアウトソーシングを実現し、リモート環境でサービスデスクシステムを構築・提供します。

## 06

## 持続可能なテクノロジーの採用

SDGs達成への企業の貢献に対して社会の期待や要望が高まる中、社会課題への取り組みと経済活動をバランスよく行い、その両方で成果を出すことで「企業の価値」が高く評価されるようになっていきます。ここまで説明してきた上記5つのキーワードは、社会課題の取り組みに大きく関与するものです。

クラウド環境への移行や、消費電力の効率化を進めているデータセンターを積極的に活用することで直接的な使用電力の削減につながります。

クラウドネイティブに代表されるエコなシステム開発を行うことで作業時間の短縮を実現し、ハイブリッドワークでは、企業は通勤費などのコスト削減、個人ではワークライフバランスの向上につながります。

さらにデジタル経営基盤の構築や、デジタルビジネスの開発で生じるデータは膨大なサイズになる危険性をはらんでいますが、パフォーマンスの良い製品やサービスを積極的に利用することで、システムの稼働時間を短縮でき、電力、システムを構成するリソースとその料金の削減につながります。

システムの自動化は、IT人材の人手不足を解消し、メタバースなどの新しいテクノロジーを活用することでイノベーションを起こし、社会に新たな価値を生み出すかもしれません。

それぞれの取り組みの効果は微々たるものかもしれませんが、まずはできることから始めていくことが重要だと考えています。小さな取り組みの積み重ねが、やがて大きな成果や変革をもたらすと確信しています。

これからの企業は、社会課題の解決への貢献と、デジタルを活用した新たなビジネスチャンスの創出により、社会的な評価と企業価値を高めていくことで、持続的に発展していくことが求められます。

今回、お伝えした内容が、皆さまのIT戦略を策定する上で少しでも参考になれば幸いです。

# 最新IT活用事例のご紹介

ユニリタでは、当社の製品やサービスをご利用いただいているお客様にご協力いただき、当時の課題や、解決に向けた施策と導入後の効果まで、さまざまな課題に対し解決のヒントとなる事例をWebサイトなどで紹介しています。

今回はそんな事例の中から、2022年に発表した最新のIT活用事例を紹介します。DXの推進やカスタマーサクセスの実

事例  
1

## 柔軟な帳票出力を実現するための基盤として採用された「Waha! Transformer」

Waha!  
Transformer

自社のノウハウをつぎ込んだWebサービスの拡販を推進

★ **オカワパン** 株式会社オカワパン 様



詳しくはこちら

<https://waha-transformer.com/case/okawapan>

課題

- 新規 Web サービスの立ち上げに向けて、複数のツールを組み合わせることで管理が煩雑
- シンプルな環境でデータ連携・加工から Excel 帳票出力まで可能な仕組みの必要性
- 既存の簡易 ETL ツールでは商用利用できないライセンス上の課題があった

解決策

- シンプルな構成で新規Webサービスのバックエンドを支えるデータ連携基盤を「Waha! Transformer」で整備
- 「Waha! Transformer」だけでWeb APIやRDB連携、Excel帳票出力まで実現
- データ処理の設定操作などが分かりやすく、属人化の防止に貢献

導入効果

簡易ETL、帳票など複数のツールを組み合わせExcel帳票を出力していた複雑な環境から脱却し、「Waha! Transformer」だけで新規Webサービスのデータ連携からExcel帳票出力のための処理まですべて実現。加えて、データ処理設定の開発メンテナンス性を向上させ、Webアプリケーション開発チームからの要望にも柔軟に対応できる基盤整備を実現

事例  
2

## ジョブ管理の中核を担う「A-AUTO」の可用性を高める環境づくりを実現

A-AUTO

 **日販テクシード株式会社** 様



詳しくはこちら

<https://www.unirita.co.jp/case/it/techceed>

課題

ジョブ管理の中核を担う「A-AUTO」が稼働するオンプレミスサーバーの老朽化に伴い、数年ごとの定期的なリプレースから脱却するべくAWSへの移行を目指しました。しかし「A-AUTO」は業務の根幹を担うクリティカルなシステムで、障害がビジネス影響に直結しているため、AWSへの移行は可用性の点で課題がありました。

取り組み

長年利用してきた中核的なジョブ管理ツール「A-AUTO」を引き続き活用し、AWS上で「A-AUTO」の稼働実績がある「LifeKeeper」および「DataKeeper」を導入し可用性の高い環境を構築しました。AWSへのクラウドリフトを実現したことで、品質を維持したままコスト削減を実現。さらに、クラウドリフトによる定期的なリプレースからの脱却により、新たな事業に費やすリソースを増やすことができました。

事例  
3

## ビジネスモデルの変革に必須なカスタマーサクセス基盤を構築

Growwwing

LTVを最大化するための  
カスタマーサクセスプラットフォーム「Growwwing」

 **コニカミノルタ株式会社** 様



詳しくはこちら

<https://www.growwwing.jp/introduction/konicaminolta.html>

課題

- 新商談時の情報はSales Cloudにあるが、成約後の情報は担当者によるExcel管理のため情報共有が不十分
- カスタマーサクセス業務が属人化しており、事業を成長させるうえで障壁に
- お客様とのタッチポイントごとに顧客情報がバラバラに管理されており一元的に見ることができない

解決策

- サブスクリプションビジネスの継続的な成長に向け、自社のサービスに適したカスタマーサクセス基盤を「Growwwing(グロウウィング)」によって構築
- 情報を一元化し、顧客の状況を軸にしたサクセスフェーズ管理によって、プロセス全体の改善活動に貢献できる業務基盤を整備

導入効果

製品選定からわずか2か月でカスタマーサクセスの指標づくりと並行しながらカスタマーサクセス基盤を構築。カスタマーカルテで顧客情報を一元管理したことにより、独自のサクセスフェーズ管理を実現しクロスセル、アップセルの機会を増やすことにも貢献

事例  
4

## AI-OCR連携自動化で請求書仕訳クラウドサービスを支える「Waha! Transformer」

Waha!  
Transformer

紙文書のデジタル化に欠かせないAI-OCRによって  
業務の効率化を実現

◆ **Suzuyo** 鈴木株式会社  
アライズイノベーション株式会社 様



詳しくはこちら

<https://waha-transformer.com/case/suzuyo>

課題

- 非定型の帳票に対してOCRが適用できるソリューションを模索
- ブラックボックス化された仕組みでは自社での読み取り精度改善が難しい
- OCR処理後のデータ加工や変換、システム連携に活用できる仕組みが不可欠

解決策

- キーワード抽出可能なAI-OCRとデータ加工が可能な「Waha! Transformer」を選択
- 98.5%という読み取り精度を実現、ETLによって入力工数の3分の1を削減
- 通関業務や請求書入力業務のほか、紙での運用を余儀なくされる各種業務に適用

導入効果

通関業務や請求書入力など大量の紙を受領する業務にAI-OCRとETLオプションとして提供されている「Waha! Transformer」を適用。これにより業務工数の削減や読み取り精度向上を実現し、さらに外販に向けた環境整備を可能にした

現に向けた取り組みなど、現在のITトレンドでも特に注目を浴びているキーワードに関する課題に対応した事例を中心にそれぞれの概要をお伝えしています。詳細な情報はWebサイトに掲載していますので各リンクからご確認ください。



## 事例5 徹底した業務の可視化で業務効率化と工数削減を目指す

Ranabase

業務改善に向けた現場の意識改革にも貢献する「Ranabase」

東京工業大学 国立大学法人東京工業大学 様



詳しくはこちら

<https://lp.ranabase.com/case/titech.html>

課題

- IR (Institutional Research) 活動に向けての情報を得るべく、さまざまな業務の電子化が必要
- 現場と議論を進めるうえで業務可視化につながるツールの存在が不可欠
- 業務の可視化をはじめとした業務改善を行っていくためのBPM (Business Process Management) 手法に注目

解決策

- BPMコンサルティングと業務改善ツール「Ranabase」が改善活動を促進
- 業務フローの可視化により問題点の把握と改善を行うことで業務の効率化と工数削減を目指す
- 業務の可視化によって業務改善に向けた現場の意識改革を促進

導入効果

学内のさまざまな業務フローを「Ranabase」によって可視化し、関連業務の工数削減など業務改善に貢献。業務改善の統一言語として「Ranabase」の普及をさらに加速させていき、数年かけて大きな業務改善効果につなげていく

## 事例6 2万人を超えるグループ全体の情報基盤として活用する「Digital Workforce」

Digital Workforce

生産性向上に貢献することでDX推進を強力に下支え

大成建設 大成建設株式会社 様



詳しくはこちら

<https://dwf.jp/case/taisei.html>

課題

- グループで横断的に活用できるポータルサイトの刷新
- 働き方改革を推進すべく、オンプレミス環境からの脱却
- 従業員のエンゲージメント強化につながる情報の提供

解決策

- 全社的なDX推進を支えるグループ情報基盤を整備
- Azure ADとの連携で認証プロセスをシンプルに、セキュアかつ利便性の高い環境を整備
- 個人が自由にガジェットを配置できるエリアを設定するなど使い勝手のいい柔軟なポータルを提供

導入効果

2万人を超えるグループ会社のメンバーが利用するポータルサイト「TAISEI PowerSite」の基盤として「Digital Workforce」を活用し、DX推進を支え、生産性向上に資する環境整備に貢献

## 事例7 データ加工・編集のプラットフォームとして1,200時間を超える工数削減を実現

Waha! Transformer

社内外のDX推進を強力に推し進める武器として有用な「Waha! Transformer」

アテナ 株式会社アテナ 様



詳しくはこちら

<https://waha-transformer.com/case/atena>

課題

- 社内業務におけるデータ処理のプラットフォームが統一されておらず、複数環境が乱立
- 事業セグメントが複数あるなかで、データ集計・編集作業の属人対応が常態化
- 退職者が残したExcelマクロやAccess等のレガシー資産の運用では変化の激しい業務要件に対応しきれず、生産性の低下から業務設計の刷新が急務

解決策

- わずか10か月間で年間1,254時間の工数削減を実現
- 人に業務を張り付けさせることなく各種作業を効率化、心理的な負担も軽減
- 短納期での顧客要望に対応できるケースが増え、顧客満足向上・営業面でもプラスの効果

導入効果

社内におけるデータ加工・編集作業のプラットフォームが乱立していたなか、「Waha! Transformer」のバージョンアップを契機に業務改善ツールとして活用。年間1,200時間を超える業務改善効果を実現し、RPAとともに業務改善の中核的な仕組みとして普及

今回ご紹介した事例の他にも、ユニリタのWebサイトでは、さまざまIT課題を解決する事例が紹介されています。ぜひ、こちらもご覧ください。

ユニリタWebサイトの事例ページはこちら  
<https://www.unirita.co.jp/caselist.html>

また、ユニリタWebサイトにも掲載されていない最新事例を、3月に開催されるイベント「UNIRITAユーザシンポジウム」にて、事例企業様自らでご発表いただけます。

「UNIRITAユーザシンポジウム」の開催概要とプログラム、お申し込み方法などを本号の8ページに紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

4年ぶりに福岡での開催となる第39回UNIRITAユーザシンポジウム。  
待望のリアル開催となる今回は、おかげさまでたくさんのお申し込みを頂き、皆さまの期待をひしひしと感じています。

今回は感染症対策のため、参加人数を制限しての開催となりますが、より多くの方に参加していただけるよう各セッションはオンラインでも配信します。ぜひご視聴ください。

皆さまのご参加をお待ちしています。(視聴には事前のお申し込みが必要になります)

## 主なプログラム

### 1日目

《パートナーセッション》 ユニリタの多くのパートナー様の中から、右記の3社様にユニリタとの協業によって生まれた最新の製品・サービスについてご講演いただきます。

- ・リコージャパン株式会社
- ・キヤノンITソリューションズ株式会社
- ・株式会社日立ソリューションズ

### 《事例発表》

毎年数多くのユーザ企業様にユニリタグループの製品・サービスを活用した最新の導入事例をご発表いただいています。今回は以下のユーザ企業様にお話しいただきます。

・カシオ計算機株式会社	ETLで繋ぎ、奏でる。「MY G-SHOCK」サービスでお客様へ届ける新たな体験価値。
・興安計装株式会社	運用の品質改善は「見える化」と「ゆとり」が肝心 自動化とITILベースの情報管理で組織活性化を目指す!
・コニカミノルタ株式会社	IoTデータで実現するカスタマーサクセス お客様の「サポート」から「成功への伴走」へ
・富士フイルムメディカル株式会社	構成管理事例 ～顧客納入機器データを活用したサービス強化と商談機会創出～
・株式会社ロッテ	「まるっと帳票クラウドサービス」を利用した請求書発送業務の見直し
・YKK AP株式会社	レガシーマイグレーションの実例と A-AUTO を使い続ける理由

《マネジメントセッション》 IT業界の最新動向や流行しているキーワードなど、最新のITトレンドをご紹介します。

### 2日目

### 《研究発表》

企業や職種の垣根を超えて集まったメンバーが、それぞれのテーマについて1年間研究活動を行ってきました。その研究成果の集大成を発表します。毎年熱い盛り上がりを見せています。今回は21グループが発表します。

### 《講演会》

サッカー解説者で元サッカー日本代表コーチの山本 昌邦氏をお招きし、「一流選手から学ぶ目標達成のプロセス」と題した講演会を開催します。

プログラムや開催内容の詳細な情報と  
イベントへのお申し込みは  
特設サイトをご確認ください

<https://symposium.uniritauser.jp/>

リアル参加のお申し込みはすでに終了しており、  
現在はオンライン参加（参加無料）のみ受け付けています。  
※上記の内容は予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

## ユニリタマガジン、Ha.Co.Bu.Ne.で配信中

ユニリタマガジンはスマートフォンアプリの「Ha.Co.Bu.Ne. (ハコブネ)」でも配信されています。  
「Ha.Co.Bu.Ne.」はユニリタグループの株式会社ビーティスが提供している、ドキュメントを配信・閲覧できるスマホアプリです。ユニリタマガジンだけではなくパンフレットやマニュアルなど「Ha.Co.Bu.Ne.」で配信されているドキュメントを手軽に閲覧できますので、お気に入り企業のドキュメントをまとめて後から読み返すことができるほか、新着ドキュメントの案内を受け取ることも可能です。ドキュメント検索機能では、ハッシュタグでの検索や現在地に近い人が配信したドキュメントを検索ができるため、地域に密着した案内なども閲覧できます。

配信はアプリではなく「Ha.Co.Bu.Ne.」のWebサイトから配信し、広報誌やイベント情報といったドキュメントを企業や小売店、自治体など問わず配信できます。また、個人の趣味で書いた小説やボランティアのお知らせなども配信可能です。

まずは「Ha.Co.Bu.Ne.」アプリをダウンロードいただきユニリタマガジンの閲覧と、ドキュメント配信をぜひ活用ください。



スマートフォンアプリの  
ダウンロードはこちらから



# UNIRITA

## 株式会社ユニリタ [www.unirita.co.jp](http://www.unirita.co.jp)

本社 〒108-6029 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟  
名古屋営業所 〒451-0045 名古屋市西区名駅3-9-37 合人社名駅3ビル

ユニリタグループ

株式会社ヒューアップテクノロジー / 株式会社ビーティス /  
株式会社データ総研 / 備実必(上海)軟件科技有限公司 /  
株式会社ビーエスピーソリューションズ / 株式会社ユニ・ランド /  
株式会社ユニリタプラス / 株式会社無限 / 株式会社ユニリタエスアール

アンケートご協力をお願い

ユニリタでは、今後もユニリタマガジンの見直しや改善を実施し、皆さまのお役に立てる情報をお届けするために、アンケートを実施します。ぜひ、皆さまの率直なご意見、ご感想をお聞かせ下さい。

アンケートはこちら

<https://cl.unirita.co.jp/mg68-qu>